

横浜市感染症発生動向調査報告 4月

《今月のトピックス》

- インフルエンザ患者報告数が再び増加しました。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。

◇ 全数把握の対象

〈4月期に報告された全数把握疾患〉

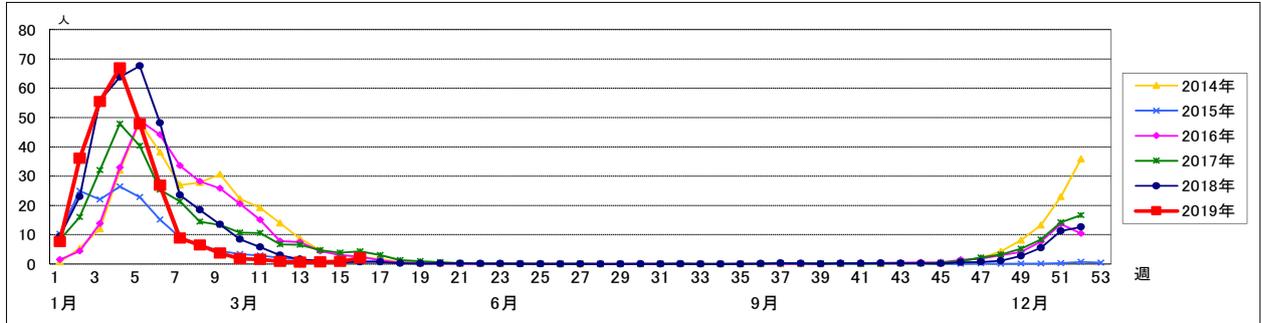
腸管出血性大腸菌感染症	2件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7件
腸チフス	2件	急性脳炎	2件
パラチフス	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
マラリア	1件	梅毒	15件
レジオネラ症	1件	百日咳	13件
アメーバ赤痢	6件	風しん	18件
ウイルス性肝炎	1件	麻しん	2件

- 腸管出血性大腸菌感染症: O157の報告が1件、O不明の無症状病原体保有者の報告が1件ありました。
- 腸チフス: ネパールでの感染経路等不明の報告が1件、インドでの経口感染と推定される報告が1件ありました。
- パラチフス: インドでの経口感染と推定される報告が1件ありました。
- E型肝炎: 感染経路等不明の報告が1件ありました。
- デング熱: ベトナムでの蚊からの感染と推定される報告が1件ありました。
- マラリア: コンゴ民主共和国での蚊からの感染と推定される報告が1件ありました。
- レジオネラ症: 肺炎型の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が5件、腸管および腸管外アメーバ症の報告が1件ありました。インドでの経口感染が1件、国内またはタイでの異性間性的接触が1件、国内の感染経路不明が2件、感染地域不明で感染経路不明が2件でした。
- ウイルス性肝炎: B型の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 急性脳炎: 2件の報告(幼児1件、小児1件)があり、病原体は不明です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群の報告が3件ありました。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む): 同性間性的接触によるAIDSの報告が1件ありました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 小児の報告が1件(ワクチン接種あり)、60歳代の報告が1件(ワクチン接種なし)、80歳代の報告が1件(ワクチン接種不明)ありました。
- 梅毒: 15件の報告(無症状病原体保有者8件、早期顕症梅毒Ⅰ期4件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件)がありました。感染地域は国内13件、不明2件でした。感染経路は異性間性的接触が10件、同性間性的接触が2件、感染経路不明が3件で、性別は男性10件、女性5件でした。
- 百日咳: 10歳未満では乳児が2件(いずれもワクチン接種なし)、幼児が1件(ワクチン接種あり)、小児が7件(ワクチン接種あり4件、不明3件)の報告があり、10歳代で3件(いずれもワクチン接種あり)の報告がありました。
- 風しん: 検査診断例17件、臨床診断例1件が報告されています。20歳代2件(ワクチン接種なし1件、不明1件)、30歳代7件(ワクチン接種あり1件、なし1件、不明5件)、40歳代7件(ワクチン接種なし3件、不明4件)、50歳代1件(ワクチン接種なし)、60歳代1件(ワクチン接種不明)でした。男性16件、女性2件でした。
- 麻しん: 検査診断例2件が報告されています。感染地域はヨーロッパ1件、ベトナム1件で、いずれも20歳代(いずれもワクチン接種不明)でした。

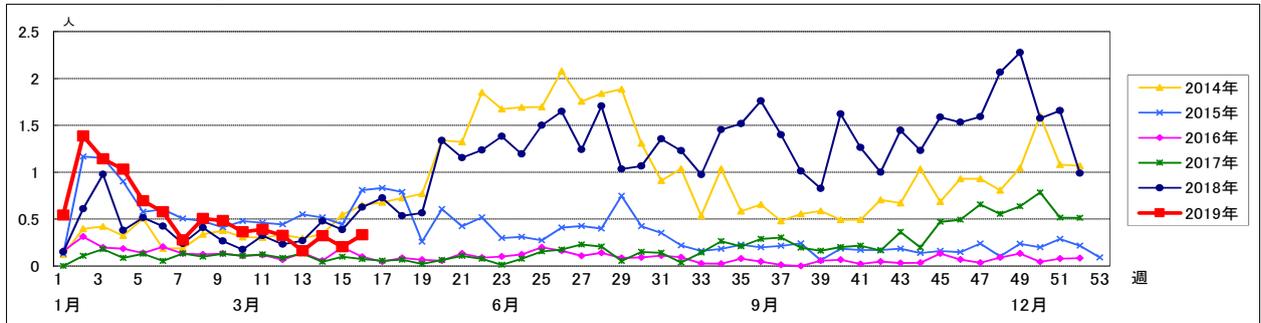
◇ 定点把握の対象

1 インフルエンザ:2018年第48週に定点あたり1.07にて流行開始し、第51週に11.31にて注意報発令、2019年第2週に36.08にて警報発令されました。第4週に66.88でピークとなった後、第7週に8.86にて警報解除となりました。第12週以降、1.00を下回っていましたが、第16週にて2.06となりました。

報告週対応表	
第12週	3月18日～3月24日
第13週	3月25日～3月31日
第14週	4月1日～4月7日
第15週	4月8日～4月14日
第16週	4月15日～4月21日



2 伝染性紅斑:2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。2018年第48週で2.07となり警報発令基準を上回りましたが、第16週では定点あたり0.33となっており、警報解除基準値を下回っています。



3 性感染症(3月)

性器クラミジア感染症	男性:32件	女性:24件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:4件	女性:10件
尖圭コンジローマ	男性:6件	女性:2件	淋菌感染症	男性:7件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.67	1.00	1.67	0.00	0.00

5 基幹定点月報(3月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	—	—

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

4月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点50件、内科定点13件、基幹定点4件、眼科定点3件で、定点外医療機関からは1件でした。

5月7日現在、表に示した各種ウイルスの分離株15例と遺伝子8例が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(4月)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状		インフルエンザ*	ヒトメタニューモ	感染性胃腸炎	流行性角結膜炎
	上気道炎	下気道炎				
インフルエンザ AH1pdm09型			3			
インフルエンザ AH3型			4			
インフルエンザ B (Victoria)型	1		6			
アデノ 56型						1
R S		1				
ヒトコロナ 229E or NL63	1					
ヒトメタニューモ		1	1	1		
ライノ	1		1			
ノロ					1	
合計	1 2	0 2	13 2	0 1	0 1	1 0

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

*:インフルエンザ(疑い含む)

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

4月の「菌株同定」依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌5件、チフス菌1件、パラチフスA菌1件、サルモネラ属菌1件、下痢原性大腸菌1件、肺炎球菌1件、百日咳菌1件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌2件の依頼がありました。

保健所からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、劇症型溶血性レンサ球菌2件、腸管出血性大腸菌2件、チフス菌1件、カンピロバクター1件、髄膜炎菌1件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、基幹定点からリケッチア3件、レプトスピラ3件、マラリア1件、非定点から抗酸菌1件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌5件、肺炎球菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(4月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	5 <i>Escherichia coli</i> (2)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (2)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)
		チフス・パラチフスA菌	2 <i>Salmonella</i> Typhi(1)、 <i>Salmonella</i> ParatyphiA(1)
		サルモネラ属菌	1 <i>Salmonella</i> Enteritidis(1)
		下痢原性大腸菌	1 病原関連遺伝子不検出:O18
		肺炎球菌	1 <i>Streptococcus pneumoniae</i>
		百日咳菌	1 <i>Bordetella pertussis</i>
非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2 <i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (1)、 <i>Hafnia alvei</i> (1)	
保健所	保健所	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6 <i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (4)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (2)
		劇症型溶血性レンサ球菌	2 A群溶血性レンサ球菌(2)
		腸管出血性大腸菌	2 O8:H19 VT2、O157:H- VT2
		チフス菌	1 <i>Salmonella</i> Typhi
		カンピロバクター	1 <i>Campylobacter jejuni</i>
	髄膜炎菌	1 <i>Neisseria oralis</i>	

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等
医療機関 基幹定点	リケッチア (ツツガ虫病、紅斑熱群)	痂皮	2	不検出(nested-PCR)
		血漿	1	不検出(nested-PCR)
	レプトスピラ	血清	1	不検出(nested-PCR)
		全血	1	不検出(nested-PCR)
		尿	1	不検出(nested-PCR)
	マラリア	全血	1	不検出(LAMP法)
	非定点	非結核性抗酸菌	大腸	1

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	5	A群T1(1)、A群T型別不能(2)、A群TB3264(1)、 A群T12(1)
	肺炎球菌	1	不検出

【 微生物検査研究課 細菌担当 】